

はびきの市民大学だより

オータムコンサート&特別講義

入場無料
要整理券

10 月 15 日(土)13 時 00 分より、大阪音楽大学音楽専攻科生によるオータムコンサート&小泉凡氏による特別講義を行います。市内・市外問わず、どなたでも入場いただけます。入場整理券は、はびきの市民大学受付カウンター・はびきのコロセアム・市民体育館・市民会館にて配布中です。インターネットでもお申し込みいただけます。(お一人様 4 枚まで)

■日 時 2022 年 10 月 15 日(土) 12 時 15 分開場 【第 1 部】13 時 00 分～ 【第 2 部】14 時 45 分～

■場 所 LIC はびきのホール M

〈第 1 部〉 大阪音楽大学専攻科生によるオータムコンサート ～“神童”モーツァルトを知る～



【プログラム】全曲解説付き

- ♪ 交響曲第 40 番 ト短調 K.550 より
第 1 楽章 モルト・アレグロ(ピアノ 2 台 8 手)
- ♪ 歌劇《フィガロの結婚》K.492 より
No.12 〈恋とはどんなものかしら〉(独唱)
- ♪ アヴェ・ヴェルム・コルプス ニ長調 K.618 他



〈第 2 部〉特別講義 <水木しげる生誕百年>

水木しげると小泉八雲 一響き合う妖怪観をめぐってー

◇ 講 師 ◇

小泉凡(小泉八雲記念館館長、焼津小泉八雲記念館名誉館長、島根県立大学短期大学部名誉教授)東京生まれ。専攻は民俗学。1987 年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界のゆかりの地で展開する。主著に『民俗学者・小泉八雲』(恒文社、1995 年)、『怪談四代記一八雲のいたずら』(講談社、2014 年)、『小泉八雲の怪談づくし』(八雲会、2021 年)ほか。小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)曾孫。日本ペンクラブ会員。



日本の妖怪文化の発信者、水木しげると小泉八雲を異界に誘ったのは、いずれも子ども時代の乳母の存在。虫とアンデルセンが大好き、循環的生命観や反人間中心主義への共感、漫画や再話文学で前代の妖怪文化のバトンを渡す。そんなふたりの役割には強く響き合うものがあります。

学 長 コ ラ ム 【第 37 回】



河内厚郎
(はびきの市民大学学長)

日本経済新聞の「舞台評」を担当したことがある。この新聞の文化・芸能欄は限られたスペースだが、実業界の人々、とりわけ政財界の要人が目を通すというので世間の注目度は高く、劇評が集客に直接影響した。

梅田コマ劇場の地下がシアター・ドラマシティに建て替わる柿落とし公演。野口五郎が主演した『ミスター・アーサー』を辛口で紹介したところ、劇場の営業部から抗議が来た。野口五郎本人からも私宛に電話が架かってきて、「もう一度、見にきてほしい」。それで劇場へ再度出かけ、大阪新聞(いまはもうない)のエッセイ欄で取りあげた。

また、或る俳優の台詞回しを批判したところ、ぶあつい郵便が俳優本人から新聞社経由で届いた。台本がそっくり入っていて、「どの台詞が悪いのか、具体的に線を引いて指摘してほしい」。横内正という俳優であった。

批評家というのも緊張感が求められる仕事で、芝居を観るのも真剣勝負である。

野口五郎は優れたミュージカルスターに育って、『レ・ミゼラブル』のマリウスは当たり役になり、相手役のフォンテーヌは岩崎宏美の持ち役となっている。

シアター・ドラマシティは、開場から 30 周年を迎えた。

10 月の聴講のご案内

⑩悠久の古代エジプト王朝史-王家の女性をめぐる王朝史を辿る-

火曜 2 限 13:00～14:30

10/4	テーベの神妻(テシシェリなど)	京都橘大学 講師 宮本純二
10/11	偉大なる女ファラオ(ハトシェプスウト)1	
10/18	偉大なる女ファラオ(ハトシェプスウト)2	
10/26	異端の女王(ネフェルティティ)	

⑬無声映画が教えてくれること

木曜 3 限 15:00～16:30

10/6	多様な現代劇『狂った一頁』(1926 年)、 『爆弾花嫁』(1932 年)	大阪芸術大学 非常勤講師 吉田馨
10/27	「音」の問題『ジャズシンガー』(1927 年)、 『雨に唄えば』(1952 年)	

⑯近現代文学入門

日曜 2 限 13:00～14:30

10/9	都市と文学(2)ドッペルゲンガー(分身幻想)の流行	武庫川女子大学文学部 非常勤講師 森本智子
10/16	都市と文学(3)モダン・ガールの都市	
10/23	長編小説というジャンル～中里介山『大菩薩峠』の世界～	

■場 所 羽曳野市立生活文化情報センター(LICはびきの)

■申 込 来館、電話、FAX

■申込期間 当該講義日の1週間前から前日まで ※先着順。定員に達し次第、締め切りとなります。

■聴講料 1講義につき800円(当日支払)

はびきの市民大学

〒583-0854 大阪府羽曳野市軽里 1 丁目 1 番 1 号(LIC はびきの内)

【TEL】072-950-5503 / 【FAX】072-950-5650

受付 9 時 00 分～17 時 30 分(2 階学習情報室 9 時 30 分～16 時 30 分) ※閉室は祝日・振替休日・年末年始

ご提出いただきました個人情報につきましては、羽曳野市個人情報保護条例(平成12年羽曳野市条例第43号)に基づき適切に管理いたします。

※障害への配慮が必要な場合は事前にご相談ください。

※表記されている内容については予告なく変更になる場合がございます。

はびきの市民大学

Q 検索

